

## 1. 平成23年度における概況

### (1) 上水道事業

平成23年度末の事業数は26である。

全事業の現在給水人口は1,804,897人で前年度(1,810,407人)より5,510人(0.3%)減少している。

年間給水量は255,448千 $m^3$ で、前年度(259,255千 $m^3$ )より3,807千 $m^3$ (1.5%)減少しており、実績1日最大給水量も811,404 $m^3$ で、前年度(822,928 $m^3$ )より11,424 $m^3$ (1.4%)減少している。

給水収益は37,131,830千円で、前年度(37,682,332千円)より550,502千円(1.5%)減少し、給水人口1人あたりの水道料金負担額は、年間20,572円となっている。

年間取水量は259,951千 $m^3$ で、前年度(265,417千 $m^3$ )より5,466千 $m^3$ (2.1%)減少し、取水量に対するロス率は1.7%である。

年間有収水量は221,865千 $m^3$ で、有収率は86.9%である。年間有収水量を用途別に見ると、最も多いのは生活用の165,541千 $m^3$ で、次いで営業用の33,402千 $m^3$ となっている。

供給単価は167円/ $m^3$ で、前年度の値と同じである。

### (2) 簡易水道事業

平成23年度末の事業数は80である。

全事業の現在給水人口は67,633人で、前年度(69,043人)より1,410人(2.0%)減少し、年間給水量は10,896千 $m^3$ で前年度(11,206千 $m^3$ )より310千 $m^3$ (2.8%)減少した。

1日平均29,852 $m^3$ を給水しており、前年度(30,702 $m^3$ )より850 $m^3$ (2.8%)の減少となった。

年間有収水量は8,330千 $m^3$ で前年度(8,679千 $m^3$ )より349千 $m^3$ (4.0%)減少し、有収率は76.5%であった。

### (3) 専用水道

専用水道施設は140であり、現在給水人口は11,982人である。

140施設のうち、水源が「自己水源のみ」のものが63施設で現在給水人口は1,636人、それ以外の「他の水道事業から給水を受けている(自己水源との併用も含む)」ものは77施設で現在給水人口は10,346人である。